

図画工作科の研究

1 図画工作科で目指す子ども

形や色などの造形的な要素に着目して、イメージを広げて表したり、自他の作品に対するよさや美しさを感じ取ったりする子ども

図画工作科は、発想・構想する能力、創造的な技能、鑑賞の能力といった造形的な資質・能力を育成する教科である。

表現では、イメージを広げて表すことで、これまでの経験や知識を結び付けたり新たなアイデアを思い付いたりして発想・構想する力が高まる。また、イメージに合う材料を選択し、その特徴を生かすことで創造的な技能が高まる。

鑑賞では、作品に対するよさや美しさを感じ取る過程で、自他の表現について表し方の意図や特徴を理解し、鑑賞の能力が高まる。

これらの造形的な資質・能力は、表現及び鑑賞のどちらでも、子どもが形や色などの造形的な要素に着目し、イメージと関係付けて考えるという「見方・考え方」を働かせることで発揮される。そして、表現の過程や鑑賞の過程を振り返り、発揮した資質・能力を自覚する経験を繰り返すことで育成される。

このように、造形的な資質・能力の発揮と自覚とを繰り返してイメージを広げて表したり、自他の作品に対するよさや美しさを感じ取ったりする姿が、当校の図画工作科で目指す子どもの姿である。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり

○ 低学年：絵や立体，工作

造形的な要素を基にイメージを広げて表し方を考え、工夫して表す子ども

堀田は低学年複式の「絵や立体，工作に表す活動」において、子どもの想像力をかき立てるテーマや、子どもがあこがれを抱くような参考資料を提示する。そして、「何が」「どんな感じか」という視点で表したいものを問い、思考ツールにまとめさせる。子どもは、既存の知識や経験等から連想し、多様にイメージを広げ始める。

ここで材料を提示し、触れさせながら気付いたことを付箋等へ書き出させる。子どもは、材料の形や色を基にして、自分の表したいイメージに合う表し方を考える。付箋へ書き出させる際は、「○○という材料で」「どんなことができるか」といった視点で書き出させる。子どもは、様々な表し方を比べて考え、自分のイメージと、それに合う表し方とを関係付け、表現に見通しをもつ。

その後、材料や描画材を提示して造形活動に取り組みせると、子どもは材料の特徴を生かして、一通り表現をして満足感を得る。そして、友だちの表現に関心を示し、どのような作品になったのかを伝え合い始める。

このような子どもに、中間鑑賞活動の場を設定する。この活動では、子どもがタブレット端末を用いて、自他の作品から見付けたよさや楽しさ、面白さを動画で記録させ、交流できるようにする。この活動により、子どもは自他の作品について表し方のよさを知り、自分のイメージに合うよりよい表し方を考える。その後、必要な材料を用いて表現することで、目指す姿になる。

目指す姿になった子どもに、作品のよさを伝え合う相互鑑賞の場を設定した後、表現過程を写真や動画等を基に振り返らせる。子どもは様々な資質・能力を発揮したことを自覚する。

3 図画工作科の学習で働かせる「見方・考え方」

	低学年	中学年	高学年
見方・考え方	<p>【表現】 ○形や色などに着目し、自分のイメージと関係付けて考えること</p> <p>【鑑賞】 ○自他の作品の形や色などの造形的な要素に着目すること ○自他の作品のもつ造形的な要素と表し方とを関係付けて考えること</p>		

4 図画工作科で育成する資質・能力

	低学年	中学年	高学年
① 知識・技能	<p>【表現】 ○材料の形や色が表す効果に関する知識 ○基礎的な用具を扱う技能 ○材料の特徴を生かす技能</p> <p>【鑑賞】 ○作品の形や色が表す効果に関する知識</p>	<p>【表現】 ○形や色、組合せ、色の明るさの効果に関する知識 ○前学年までを含んだ、基礎的な用具を扱う技能 ○材料の特徴を生かす技能</p> <p>【鑑賞】 ○作品の形や色、組合せ、色の明るさの効果に関する知識</p>	<p>【表現】 ○形や色、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさの効果に関する知識 ○前学年までを含んだ、基礎的な用具を扱う技能 ○材料の特徴を生かす技能</p> <p>【鑑賞】 ○作品の形や色、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさの効果に関する知識</p>
② 思考力・判断力・表現力	<p>【表現】 (造形遊び) ○身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を発想・構想する力 ○感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考える力 (絵や立体、工作) ○感じたこと、想像したことから自分の表したいことについて発想・構想する力</p> <p>○手や体全体などの感覚を働かせ、表したいことを基に、表し方を考える力</p> <p>【鑑賞】 ○自分たちの作品や身近な材料の造形的な面白さや楽しさを見いだす力</p>	<p>【表現】 (造形遊び) ○身近な材料や場所等を基に造形的な活動を発想・構想する力 ○新しい形や色等を思い付きながら、どのように活動するか考える力 (絵や立体、工作) ○感じたこと、想像したこと、見たことから自分の表したいことについて発想・構想する力</p> <p>○材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて、表し方を考える力</p> <p>【鑑賞】 ○自分たちの作品や、身近な美術作品、作品の製作過程などの造形的なよさや面白さを見いだす力</p>	<p>【表現】 (造形遊び) ○身近な材料や場所、空間の特徴等を基に造形的な活動を発想・構想する力 ○構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するか考える力 (絵や立体、工作) ○感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから自分の表したいことについて発想・構想する力</p> <p>○材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、組み合わせたりし、表したいことに合わせて、表し方を考える力</p> <p>【鑑賞】 ○自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりする力</p>
③ 態度	<p>【表現・鑑賞】 ○造形的な創造活動に主体的に取り組もうとする態度 ○自他の作品の面白さや楽しさをとらえようとする態度 ○生活の中にある造形的な表現に気付こうとする態度</p>	<p>【表現・鑑賞】 ○造形的な創造活動に主体的に取り組もうとする態度 ○自他の作品のよさや面白さをとらえようとする態度 ○生活の中にある造形的な表現に気が付き、自分の生活とのつながりを見いだそうとする態度</p>	<p>【表現・鑑賞】 ○造形的な創造活動に主体的に取り組もうとする態度 ○自他の作品のよさや美しさをとらえようとする態度 ○生活の中にある造形的な表現のよさに気が付き、自分の生活とのつながりを見いだそうとする態度</p>